

ジオパークでの大地の成り立ちと自然と歴史・伝統・文化の繋がりの中で大いなる自然を実感するため、農地での野菜づくりに着手。元々母親の実家が香川県で農業をしており、小さい時に手伝った記憶あり。白土さんの高神の農地をお借りして、三月に土作りから始めました。野菜の苗を買つたり、白土さんから戴いたりと現在、畑にはブロッコリー、サニーレタスなど計11種類の野菜が育っています。



肥料にも
かなりたわっています

何より、四月の天気の良い日は、畑の中で佇んでいたい気持ちになります。陽差し、そよ風、雲雀の鳴り、土の感触、ミントの香り、まさにジオを五感で感じています。カモミールはお茶にして楽しんだり、手作りのお土産にしています。また、カモミール湯は、リンドゴのような甘い香りが体と心に沁み込みリラックス効果満点です。夏には白土さ

んが作っているソハギが満開となり、見事な風景は必見です。また、家内が望んでいる落花生の苗を白土さんから頂き、秋の茹で落花生を今から楽しみにしています。

季節の移りかわりと共に畑が様子を変えていき、その時々に収穫して頂く野菜の美味しさに、大地の恵みを実感できます。この歓びをジオガイドに活かせれば良いなと思っています。

ジオパークの大地の恵みに感謝して 松家英彦

私が銚子ジオパーク市民の会に入会して、6月で丸2年が経ちました。2年前の6月、佐倉歴史民俗博物館・武家屋敷・旧堀田邸・順天堂記念館の見学ツアーに、先に入会していた川瀬さんに誘われて参加しました。

た。順天堂記念館のボランティアガイドさんが女性の方で登場人物をまるで自分の身内のように嬉しそうに話されていたことが印象に残りました。そしてこのバスツアーに参加する前夜、偶然にもテレビで「銚子プラタモリ」が放送されていました。このプラタモリで私は改めて銚子を見直すことになったのです。犬吠埼の灯台も屏風ヶ浦も、ここにあるのが当たり前で、キャベツ農家だったので一年中有るのが当たり前でした。一年中温暖な気候が黒潮と親潮に関係しているな

銚子ジオパーク市民の会に入会して 向後和子

んで、深く考えもしませんでした。

今は高校3年生の5月。所

は八日市場市(現匝瑳市)。2時限授業で『台風接近、休校』となり直ちに下校。

なお、上陸の早い台風ベス

ト5は、市民の会ニュース 106号 (https://choshisgopark.com/news106_2.pdf) をご覧下さい。(秀)

思い出があります。

時は高校3年生の5月。所

は八日市場市(現匝瑳市)。2時限授業で『台風接近、休校』となり直ちに下校。

なお、上陸の早い台風ベス

ト5は、市民の会ニュース 106号 (https://choshisgopark.com/news106_2.pdf) をご覧下さい。(秀)



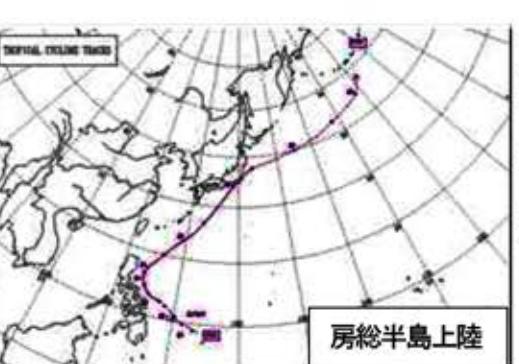
イソギク ハマエンドウ

甘酸っぱい台風の思い出 ぐーたら優君

でも・・・

最初の一聲が出せない我、甘酸っぱい台風接近の微かな思い出(哀)

後年知つたのですが、この台風は、1965年5月27日のお昼に房総半島へ上陸した台風6号であり、「上陸の早い台風2位」の記録となつた台風でした。



房総半島上陸

今年も台風に備える季節を

新しく」とでしょうね。

私は古いふるい台風の



ハマヒルガオ



ハマボッス